

会社説明資料



株式会社アルプス技研 2016年12月期 第2四半期

— 東京証券取引所市場第一部 証券コード：4641 —

正社員の技術者派遣会社です

説明のポイント

【2016年度 上期決算概況】

P4～P9

15年2Q業績を上回る好業績で推移

チームアルプスで実現する
攻めの「採用」「教育」「営業」

【2016年度 通期施策・業績予想】

P13～P18

グループ再編による高成長の実現

【中期経営計画】

P19～P20

イノベーションによる企業規模の拡大

- 外部環境は自動車好調の一方、景気の下振れリスクを注視

製造業界

輸出動向

概ね横ばい

自動車業界動向

海外生産が牽引

人材業界

派遣要請

堅調な要請
高稼働率

人材獲得競争

激しい競争
技術者派遣への参入増加

■2016年度 上期決算概況

各施策が奏功し、好業績で推移

(単位：百万円)

【連結】	2015年12月期 第2四半期	2016年12月期 第2四半期	増減率
売上高	10,956	12,326	12.5%
営業利益	926	1,255	35.5%
経常利益	952	1,304	36.9%
親会社株主に帰属する 四半期純利益	596	818	37.3%

(単位：百万円)

【個別】	2015年12月期 第2四半期	2016年12月期 第2四半期	増減率
売上高	9,643	10,961	13.7%
営業利益	844	1,171	38.6%
経常利益	901	1,281	42.1%
四半期純利益	569	816	43.3%

連結 営業利益率は10.2%を達成

(単位：百万円)

【連結】	2015年12月期 第2四半期	2016年12月期 第2四半期	増減率
売上高	10,956	12,326	12.5%
売上原価	8,148	9,197	12.9%
売上総利益	2,807	3,128	11.5%
販管費	1,880	1,873	-0.4%
○売上高販管費率	17.2%	15.2%	-2.0%
営業利益	926	1,255	35.5%
○売上高営業利益率	8.5%	10.2%	1.7%
営業外収益	34	65	90.8%
営業外費用	7	15	97.8%
経常利益	952	1,304	36.9%
特別利益	8	3	-63.1%
特別損失	5	0	-95.2%
税引前四半期純利益	956	1,307	36.8%
親会社株主に帰属する 四半期純利益	596	818	37.3%
○売上高四半期純利益率	5.4%	6.6%	1.2%

利益率向上要因

■売上高営業利益率
■売上高四半期純利益率

①単価上昇

P.6へ

②技術者数増

P.6へ

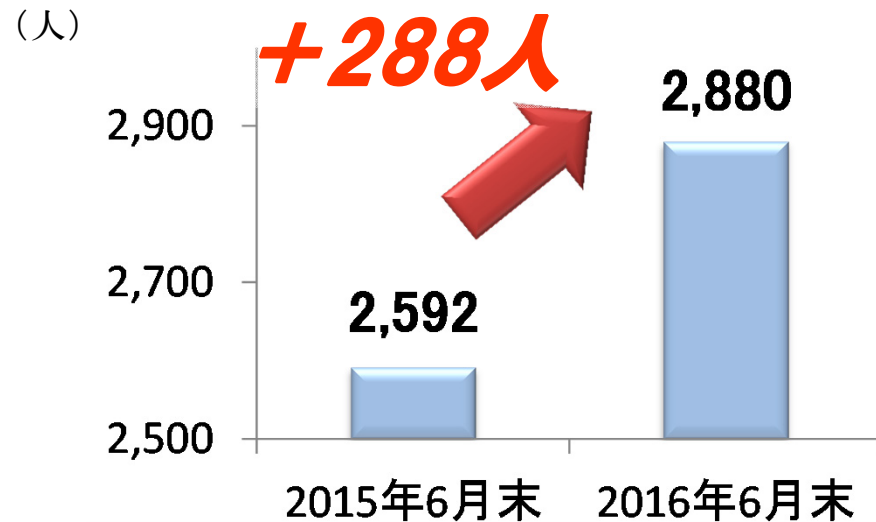
③稼働率上昇

P.7へ

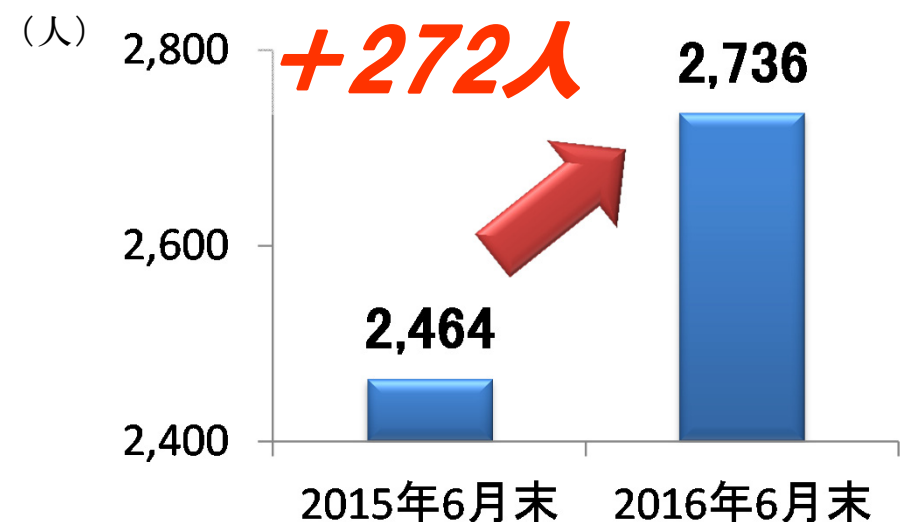
④販管費率改善

主要指標は着実に向上

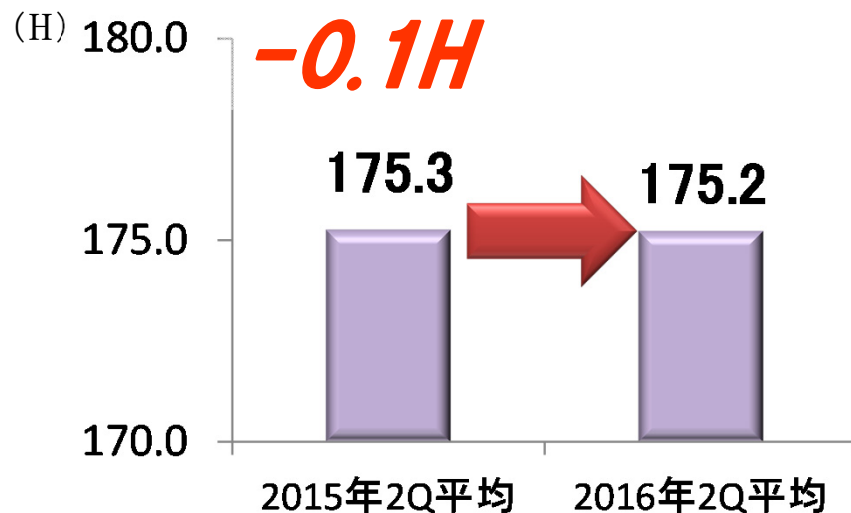
技術社員数 ※2016年6月末時点



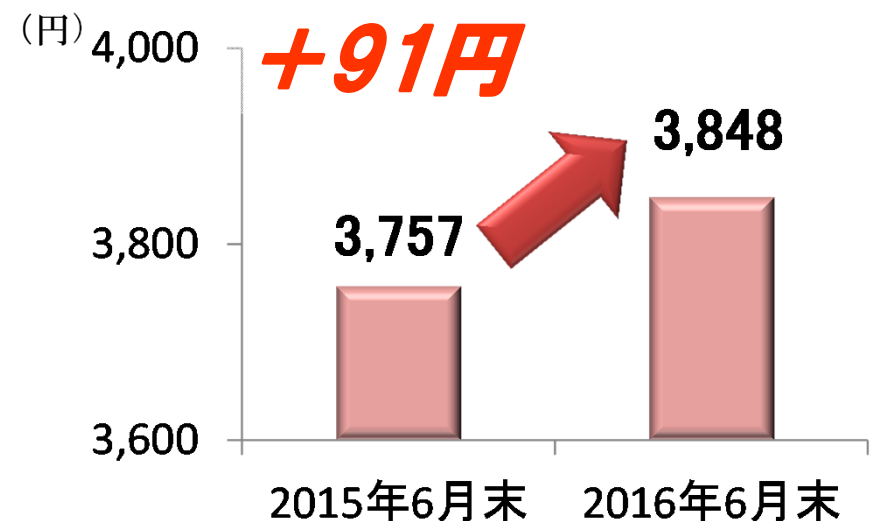
稼働人数 ※2016年6月末時点



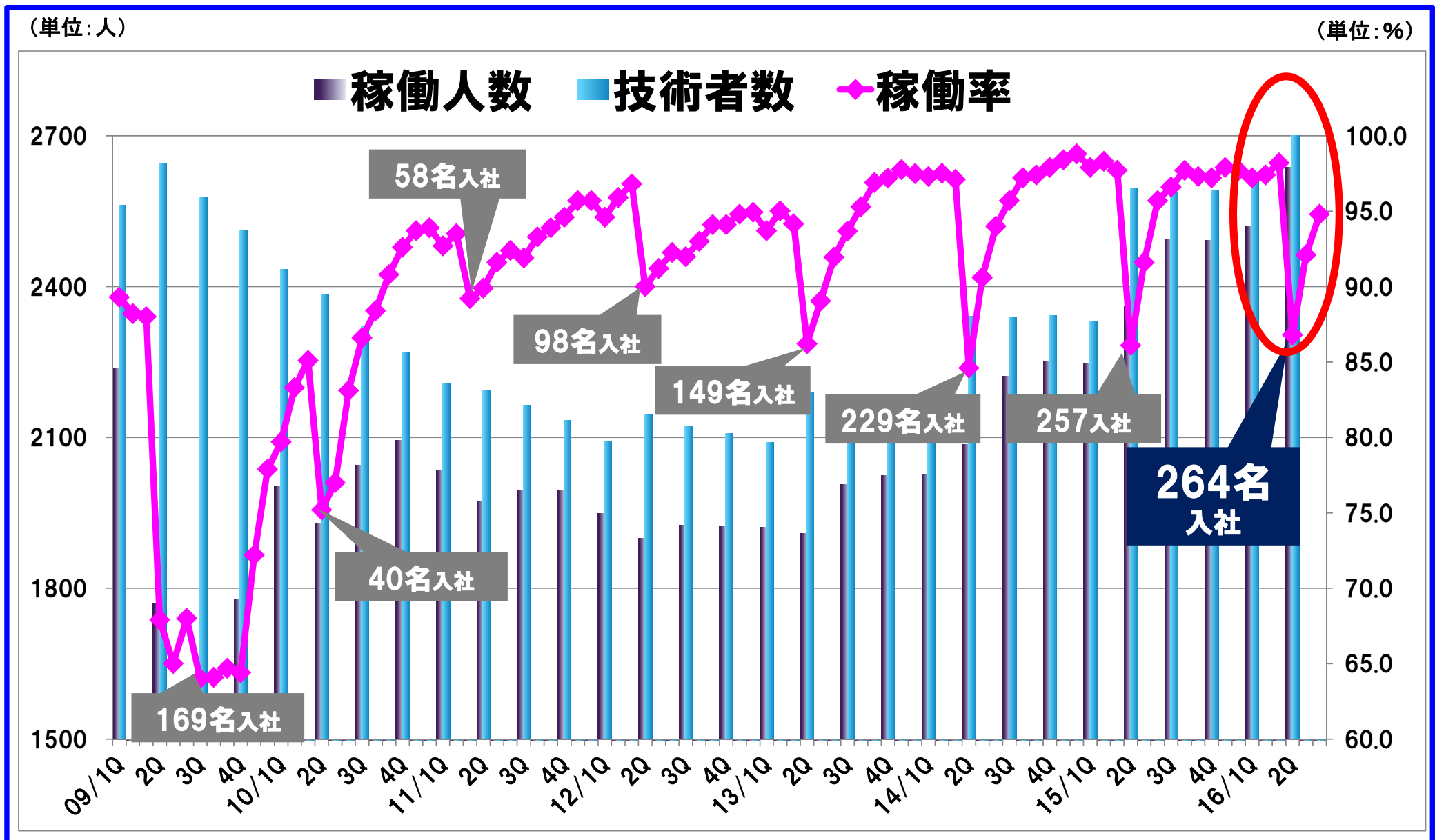
稼働工数 ※2016年度 上期平均



契約単価 ※2016年6月末時点



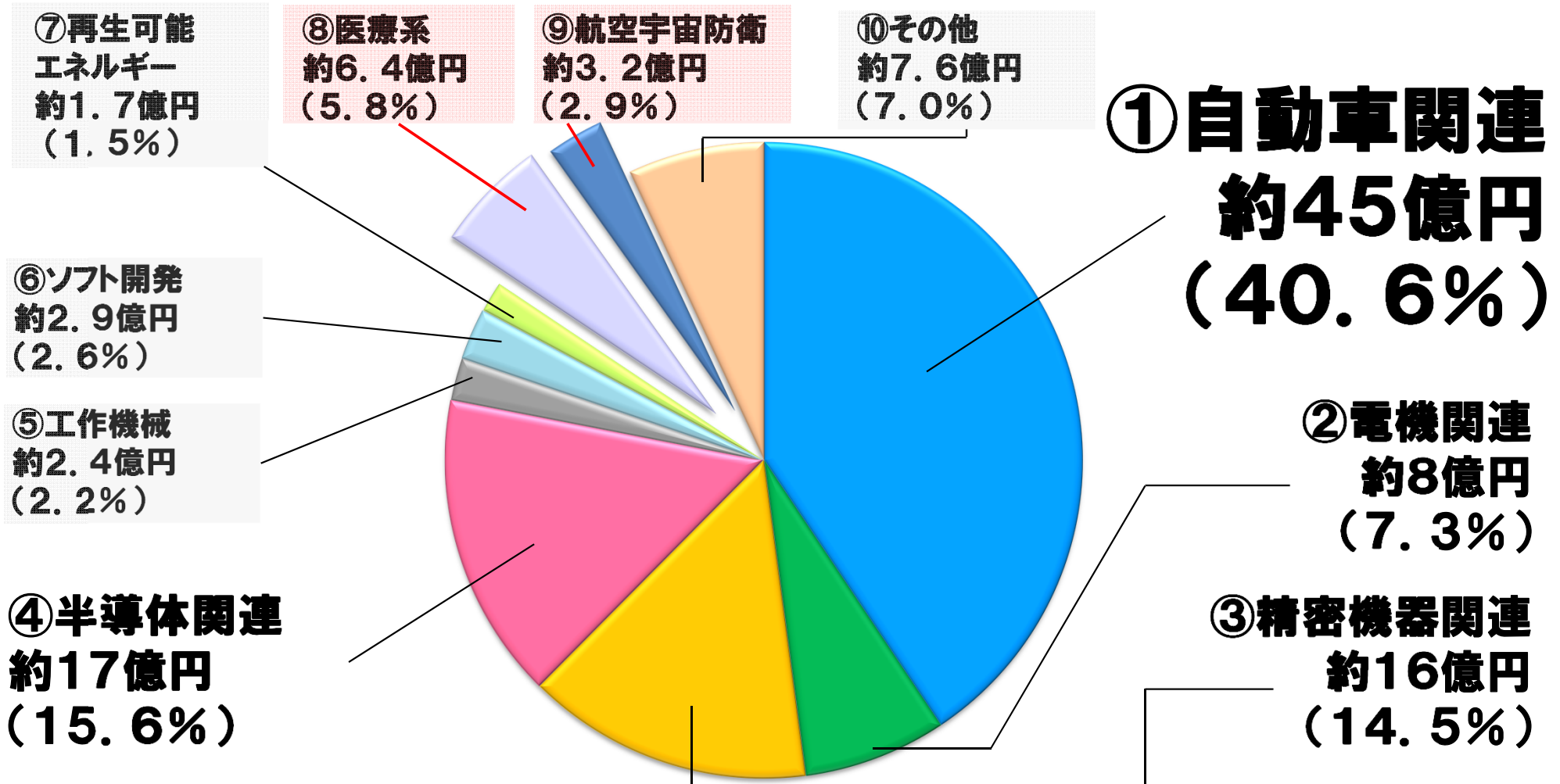
新卒稼働の早期化が年々進展



※①「稼働人数」…四半期毎の稼働人数(人) ②「技術者数」…四半期毎の技術者総数(人) ③「稼働率」…月当たりの新卒を含む全社稼働率(%)

- ・自動車関連の要請は引き続き好調
- ・医療/環境関連分野を積極的に開拓

業種別売上高 (2016年度 上期)



- ・顧客構成の裾野がさらに拡大
- ・時流に合わせ好調企業にシフト

売上上位10社

2014年度 通期	2015年度 通期	2016年度 第2四半期
デンソーテクノ	デンソーテクノ	東芝
キャノン	東芝	三菱電機
東芝	キャノン	キャノン
日立オートモティブシステムズ	三菱電機	デンソーテクノ
日野自動車	日野自動車	ソニーセミコンダクタ
三菱電機	ソニーセミコンダクタ	日野自動車
日産自動車	ソニーLSIデザイン	ソニーLSIデザイン
アイシン精機	日立オートモティブシステムズ	三菱重工業
日立アプライアンス	日立アプライアンス	矢崎部品
三菱重工業	アイシン精機	理想科学工業
上位10社比率 25.0%	上位10社比率 23.4%	上位10社比率 23.2%



■攻めの全社ビジョン

～チームアルプスの取組み～



経営理念: Heart to Heart

『アルプスブランドの確立』

アルプスブランド

製造業における人材の
あらゆるニーズへ対応

確実に成果を上げる優秀な
人材の提供

信頼と実績による
『選ばれる技術者派遣会社』

新たな価値を生み出す
ソリューションの提供

■2016年度 攻めの施策(個別)

達成目標

1. 攻めの採用

- ① 全社協力採用体制の定着
- ② 多様なチャネルのキャリア採用
- ③ グローバルエンジニア積極採用

- ・ 新卒250名採用
※2017年入社目標
- ・ キャリア120名採用
※2016年入社目標

2. 攻めの教育

- ① 段階的且つ体系的な研修の実施
- ② 資格取得の推進
- ③ マネジメント系能力開発体系確立

- ・ 技術トレンドに則した
キャリア形成
- ・ 資格取得 合格率UP
- ・ チームリーダー育成

3. 攻めの営業

- ① さらに新卒早期稼働の進展
- ② キャリアターゲットローテーションの促進
- ③ チーム化推進による顧客の選択と集中

- ・ 7月末全員稼働決定
- ・ 優良チームの増加
- ・ 実単価4千円視野

■2016年度 通期施策(グループ)

ブランドを確立し
企業規模の拡大へ

グループ成長を加速し
グローバル企業グループへ

国内事業

アルプスビジネスサービス
企業規模拡大
(採用増・単価UP)

パナR&D
グループ入りにより
シナジーを追及

チ
ー
ム
ア
ル
プ
ス

海外事業

台湾・上海・ミャンマー
事業規模拡大
アジアネットワーク展開

日本国内のグローバル人材受入
グローバルエンジニア
採用拡大

■ グループ会社の再編

密接な連携によりシナジーを最大化

アルプス技研

採用・教育・営業の連携

ABS

紹介部門発足

ACD

吸収
合併

パナR&D

子会社化
(株式譲受)

台湾

国内営業との連携強化
⇒受注案件増加

上海

■ 主な事業内容



・・・技術者派遣



・・・職業紹介

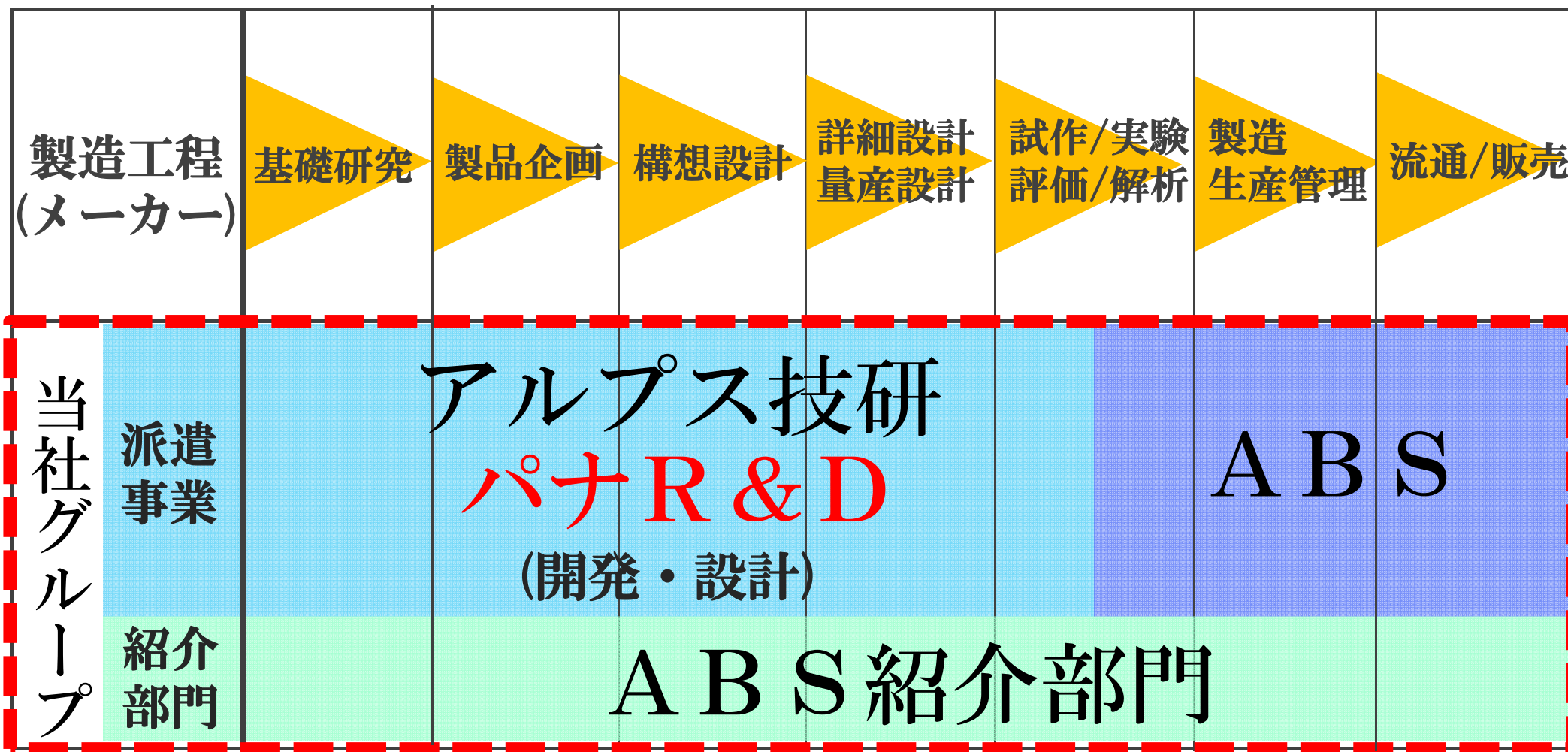


・・・グローバル事業(搬送装置据付、
人材サービス等)

【備考】 ABS・・・アルプスビジネスサービス ACD・・・アルプスキャリアデザイン

■再編に伴う新サービス領域

9月1日付で高い技術力を持つ「パナR&D」を
子会社化し、ワンストップ技術サービスをさらに強化



【備考】 ABS・・・アルプスビジネスサービス

■連結業績予想 増収・増益

さらなる高成長の実現へ

(単位：百万円)

【連結】	実績				業績予想	
	2015年度通期		2016年度上期		2016年度通期	
	金額	前年同期比	金額	前年同期比	金額	前年同期比
売上高	22,723	12.7%	12,326	12.5%	24,900	9.6%
営業利益	2,165	33.2%	1,255	35.5%	2,350	8.5%
経常利益	2,223	37.5%	1,304	36.9%	2,400	8.0%
親会社株主に帰属 する当期純利益	1,446	14.8%	818	37.3%	1,560	7.9%

■ 個別業績予想

増収・増益

攻めの施策で好業績の達成へ

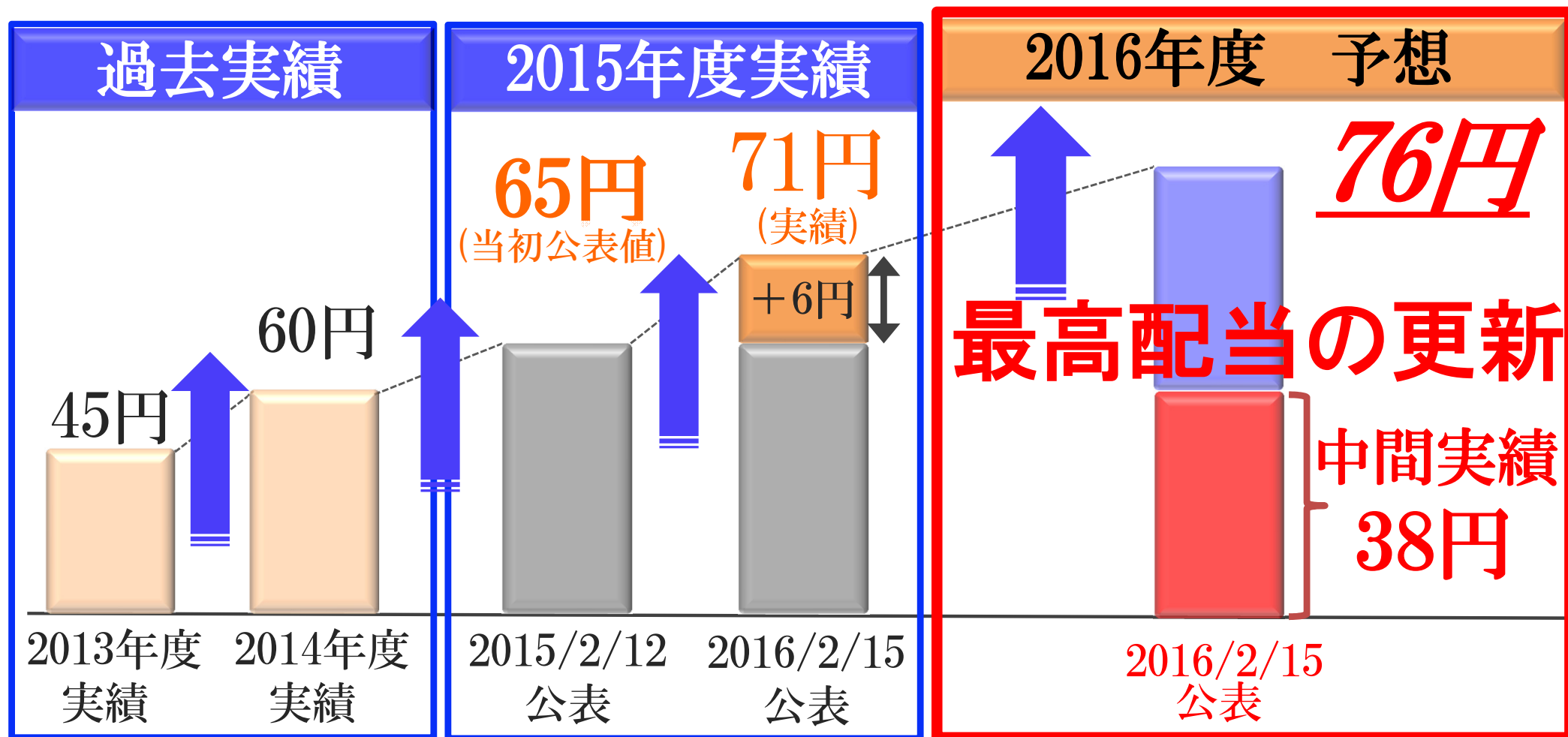
(単位：百万円)

【個別】	実績				業績予想	
	2015年度通期		2016年度上期		2016年度通期	
	金額	前年同期比	金額	前年同期比	金額	前年同期比
売上高	20,076	14.7%	10,961	13.7%	21,750	8.3%
営業利益	1,993	26.4%	1,171	38.6%	2,150	7.9%
経常利益	2,087	26.7%	1,281	42.1%	2,200	5.4%
当期純利益	1,355	31.0%	816	43.3%	1,430	5.5%

■ 配当予想 (2016年度年間配当金)

【配当の基本方針】

- ・ 連結ベースでの配当性向50%を基本とする
- ・ 中間配当金は年間配当金の50%を目処とする
- ・ 業績にかかわらず年間配当20円を維持する (安定配当の見地)

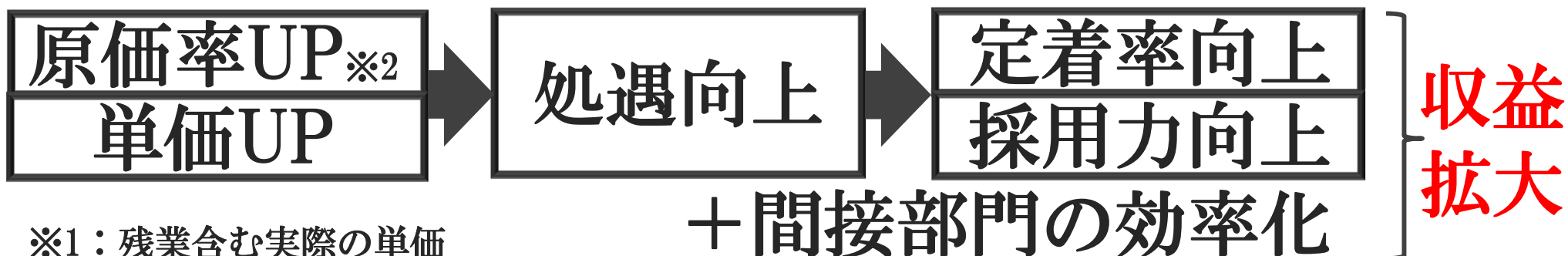


【備考】2013年度実績・・・創業45周年記念配15円を含む。

■個別目標 (2015～2017年)

- ①営業利益率 10%以上を達成
- ②平均実単価 (※1) 4千円以上を達成

	2014年度	2015年度	個別目標
売上高原価率	73.3%	73.7%	75.0%
売上高販管費率	17.7%	16.4%	15.0%
売上高営業利益率	9.0%	9.9%	10.0%



※1：残業含む実際の単価

※2：高稼働率を前提とした原価率UP

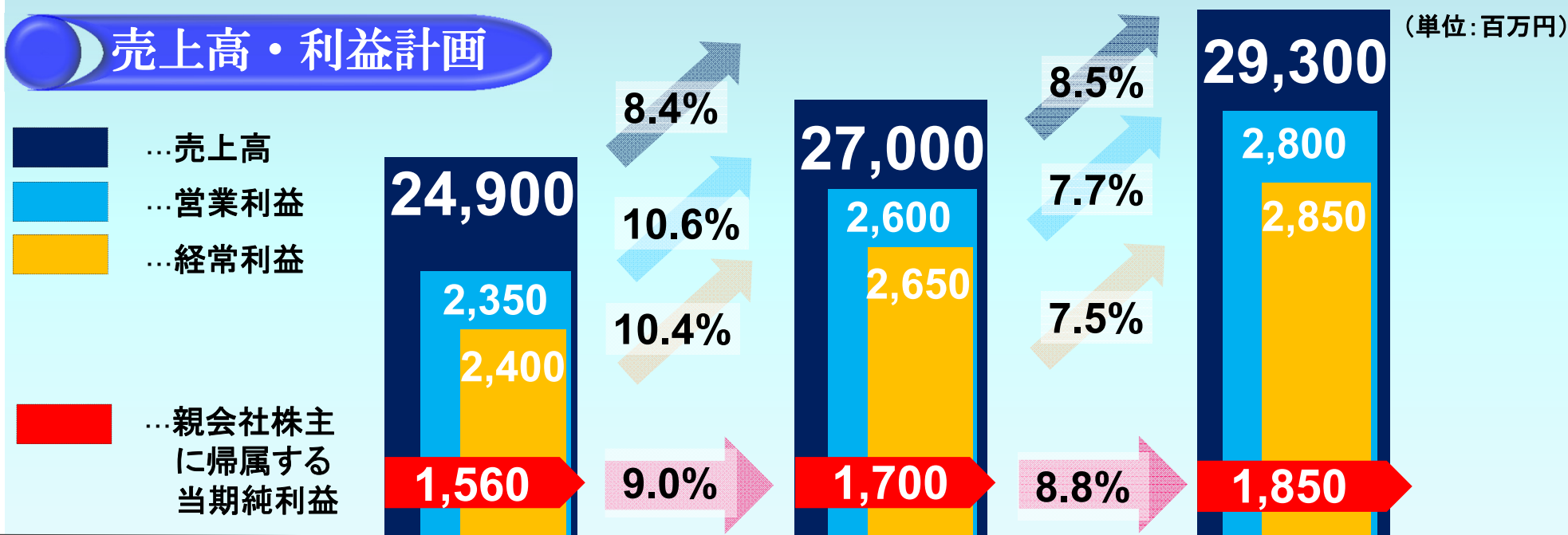
■ 中期経営計画 (連結)

第10次5カ年計画 (2018年までにありたい姿)

イノベーションによる企業規模の拡大
～創業50周年に向けた成長の加速～

3カ年毎のローリングプランを策定⇒持続的なイノベーション

売上高・利益計画



■ 中期経営計画 (連結)

各施策と主な内容

1

技術、産業の
変化を先取りし、
高度で多様な
技術サービスを提供

■内容

- ①営業・採用・教育の
仕組みの変革
- ②チーム化・請負化の推進
- ③顧客満足度の向上
- ④高度技術者集団としての
ブランド確立

2

関係会社の自立、
成長により、
当社グループの
規模拡大を加速

■内容

- ①関係会社の独自性と
収益性の発揮
- ②潮流を捉えた新規事業
の創出
- ③グループ拡大による
社会貢献への寄与

3

アジアに展開
するグローバル
企業グループへの
躍進

■内容

- ①事業基盤強化と
事業分野の拡大
- ②東南アジアにおける
ネットワーク活用
- ③グローバルな
アウトソーシング
サービスの提供

アルプス技研は、引き続き積極的に 株主還元の充実を図ってまいります。

【免責事項】

本資料に記載されている業績予想、将来予測等は、作成時点において入手可能な情報に基づく見通しであり、潜在的风险や不確実性が内在しています。
実際の業績は、経営環境や様々な要因の変化によって記述内容と大きく異なる可能性があります。